

# 令和4年度サテライト梨花の里アスピア事業報告書

## 1 運営方針について

アスピアの運営方針である「入所者の自立した生活と尊厳ある暮らしを守る」ため、全職員が認知症ケアを通じて、その人らしさを大切にされたケアを実践し、生活の質の向上と尊厳の保持に努めた。

## 2 事業目標評価について

3カ年目標の『感染症対策の強化』『災害を想定した業務継続の取り組み』『デジタル化による業務効率化』『科学的介護の推進』を推進した。

### (1) 生活援助係（介護）の評価

入所者の生活改善を目標に IOT 機器「眠りスキャン」と ICT 機器（介護記録ソフト「ほのぼの」）のデータを活用し、根拠に基づく介護の実践に取り組んだ。夜間不眠のみられる入所者に関しては、睡眠日誌のデータから夜間不眠と中途覚醒が周期的に繰り返されていることが分かった。更に「ほのぼの」の統計データと照合させることで、主な不眠の原因が下剤に関係していると推測することができた。下剤を減らす取り組みとして、食事や水分の摂取量の増加に加え、食物繊維の多い食品を食べていただき、腸内環境の改善に努めた。また、生活改善に向けて、日中は日の当たる窓辺で過ごし、夜間は安眠できるよう規則正しい睡眠リズムをつくることにも取り組んだ。その結果、7月からは下剤の服用数が減り、10月からはまとまった睡眠時間がとれるようになった。年間を通して、一晩における中途覚醒の平均時間が300分から170分に減少され、睡眠時間は180分増加した。

姿勢ケアについては、毎日継続的に正しいポジショニングが行えるよう注意点を加えた写真を用いて職員間で統一を図り、褥瘡の発生防止と拘縮予防に努めた。

### (2) 生活援助係（医務）の評価

新型コロナウイルス感染症については、「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」を継続し、日常のケアにおいては、1ケア1手洗い、消毒、換気等の感染症予防対策に努めた。毎月の感染症想定訓練では、発生時の対応やゾーニング、ガウンテクニック等を実施し、発生時に迅速かつ適切に対応できるよう職員に指導した。1月13日に新型コロナウイルス感染症が発生した際は、保健所の指示の下、看護職員が中心となって蔓延防止に取り組み、1月30日に終息することができた。終息後は更に感染予防対策を強化し再発防止に努めた。

また、入所者の健康管理については、家族の意向を踏まえ体調変動時には、医師・他職種と連携を図り、急変時や夜間の体制の強化に努めた。今年度は入所者・家族の意向を尊重し2名の看取り介護を行った。

### (3) 給食調理係の評価

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、施設行事が縮小される中、入所者の気分を盛り上げるため、介護職員と協同し、食事内容やお品書きなどで見た目も楽しめる行事を実施した。

食事形態については、入所者の摂取状況や他職種の意見をもとに、「飲み込みやすさ」と「食べやすさ」を重視し検討を重ねた。ミキサー食については、口腔内の残渣やざらつき等を減らすため、水分量やとろみ剤で粘度調整を行い、むせにくい食事の提供に取り組んだ。また、入所者と一緒に調理作業を行うことで、「食べたい料理」や「昔作っていた料理」を知ることができ、栄養士と連携し献立に反映させ、「食」への満足度を高めることができた。

### (4) 生活援助係（介護支援専門員）の評価

入所者の精神的・身体的状況に配慮したうえで、入所者・家族の要望や必要としているケアに基づき、その人らしい生活が維持できるようプランを作成した。

病気や入院等により身体状況が大きく変化した時には、適切なサービスが行えるようプランを見直し実施した。また、入所者のADLに合わせて、行事やレクリエーション等の楽しみに繋がるサービス内容を取り入れ生活の充実を図った。

### (5) 生活援助係（機能訓練指導員）の評価

入所者の日常の生活動作を重視し、個々の能力に視点を向け、身体機能の維持に努めた。日々行っている生活リハビリの具体的な援助方法や実施状況については、介護職員に助言・指導し、統一した生活リハビリが継続できるよう取り組んだ。

また、介護・看護職員と協同し、工作・体操・音楽等のレクリエーション活動を行い、心身の健康維持に努めることができた。

### (6) 生活相談員の評価

今年度の施設の利用状況は、退所5名、入所3名、入院9件、利用率98.3%、昨年度を0.9ポイント上回ることができた。介護報酬については、5月から「科学的介護推進体制加算Ⅱ」、「栄養マネジメント強化加算（1か月のみ）」、10月からは「介護職員等ベースアップ等支援加算」を新たに取得したことで増収となった。

入所者・家族の繋がりを支援するため、昨年に引き続き、アクリル板越しの面会を年末年始に実施した。6日間で延べ34名が来所され大変喜ばれた。

PDCAサイクルに基づく取り組みについては、処遇に関する委員会を主に、不適切なケアやリスク・課題への対策を再評価し、課題解決に努めたことで、入所者の尊厳を意識した声掛けや相手の気持ちに配慮した関り等が増え、入所者一人ひとりが穏やかに施設生活を送ってもらうことができた。

## (7) 総務係の評価

業者・訪問者の対応については、玄関先での検温・消毒に努め、感染症を持ち込まないための対策を継続した。施設内に感染症が発生した際は、速やかに業者と連絡を取り、必要物品の確保・補充に努め、業務が円滑に行えるよう対応することができた。入所者の施設療養に生じた必要経費については、山口県が実施する介護サービス事業所等に対するサービス継続支援事業の補助金を受け、「緊急時の介護人材確保に掛かる費用」と「職場環境の復旧・環境整備に掛かる費用」の経費を補填した。

施設の設備、器具備品については、耐用年数や不具合が生じる前に、修繕・更新を行い、入所者の生活や職員の労働環境に支障をきたすことなく施設運営を進めることができた。福祉車両については、新たに1台増台し、入所者の病院受診がスムーズに行えるようになった。

### 全職員共通

#### (1) 労働環境の充実

職員の事情等の状況に応じて雇用形態・労働日数等を変更し、無理なく就業が継続できるよう支援した。

また、安全衛生の視点から、ハラスメント・メンタルヘルスの重要性を周知し、職員の抱えている問題や相談に早期に応じ、気軽に相談できる環境づくりに努めた。

腰痛予防については、職員厚生事業の一環として、腰痛対策サポーターを希望者に支給した。

#### (2) 人材育成・技術の向上

外部研修については（オンラインを含む）、ケアの質向上と専門性を強化するため、「認知症介護実践リーダー研修」「認知症介護基礎研修」「安全対策担当者養成研修」等に参加し、研修で学んだことを施設で実践することにより、リーダーとしてのマネジメント能力が身に付き、職員の育成や指導に繋がった。

#### (3) 地域貢献活動

山口県福祉人材センターを通じて、地元中学校（下関市立豊北中学校）での出前講座に講師として参加した。実際に働いている職員（介護職員、看護職員、生活相談員）が、「福祉・介護の仕事とは」をテーマに仕事の魅力ややりがい、また進路選択の重要性を伝えたことで、介護の仕事や地域の介護施設について知っていただく機会となった。

「café よつ葉」については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかった。

### 3 職員の状況

職員数と令和4年度中における異動

職種	区分	現員 (人) R4. 4. 1	令和4年度中における異動				現員 (人) R5. 4. 1
			退職者 (人)	採用者 (人)	異動出 (人)	異動入 (人)	
正職員	施設長	1					1
	事務職員	1					1
	生活相談員	1					1
	看護職員	(1) 1	(1)				1
	機能訓練指導員	(1)	(1)				0
	介護職員	(1) 12	(1) 1	1	1	2	13
	介護支援専門員	(4)			(1)		(3)
	栄養士	0	(1)			(2)	(1)
	調理員兼介護職員	2	2			1	1
常勤職員	看護職員	2					2
	機能訓練指導員	0		(1)			(1)
	介護職員	(1) 5	(1)	1			6
	栄養士	1			1		0
	調理員兼介護職員	2					2
	介護補助員	(1)					(1)
非常勤職員	事務職員	0				(1)	(1)
	介護職員	1	1	1			1
	栄養士	0				1	1
	調理員兼介護職員	1					1
	宿日直員	3	1	1			3
	嘱託医師	1					1
	合計	(9) 34	(5) 5	(1) 4	(1) 2	(3) 4	(7) 35

( ) の数字は他職種と兼務・事務職員及び栄養士については梨花の里と兼務

#### 4 入所者の状況

本入所の状況（令和5年3月31日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)	令和4年度の入退所者		
				入所(人)	退所(人)	差異(人)
豊北町	3	21	24	3	4	△1
豊浦町	0	0	0	0	1	△1
豊田町	0	0	0	0	0	0
その他	0	3	3	0	0	0
合計	3	24	27	3	5	△2

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)	最高年齢 男 95歳 女 99歳 最少年齢 男 73歳 女 76歳 性別平均年齢 男 85.0歳 女 89.8歳 平均年齢 89.2歳
～70歳	0	0	0	0.0	
71～80歳	1	3	4	14.8	
81～90歳	1	6	7	25.9	
91～100歳	1	15	16	59.3	
101歳～	0	0	0	0.0	
合計	3	24	27	100.0	

区分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食 事	自 立	2	8	10	37.0
	一部介助	1	7	8	29.6
	全面介助	0	9	9	33.4
排 泄	自 立	0	0	0	0.0
	一部介助	2	9	11	40.7
	全面介助	1	15	16	59.3
入 浴	一 般 浴	1	7	8	29.6
	リフト浴	2	5	7	25.9
	特 殊 浴	0	12	12	44.5

## 5 実績

特養（定員 29 名）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実績	829	899	861	876	868	822	887	870	889	887	799	831	10,318
	利用率	95.3	100.0	98.9	97.4	96.5	94.5	98.6	100.0	98.8	98.6	98.3	92.4	97.5
令和3年度	実績	870	899	867	887	899	867	846	829	862	848	726	816	10,216
	利用率	100.0	100.0	99.6	98.6	100.0	99.6	94.1	95.2	95.8	94.3	89.4	90.7	96.5

退所状況について

令和4年度における退所者は5名（男性1名、女性4名）

施設にて死亡 2名（看取り）

病院にて死亡 2名

3か月を超える期間の入院 1名

短期入所（空床利用型）

延べ人数（日数×人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	実績	24	0	0	0	10	42	7	0	0	0	0	10	93
	利用率	2.7	0.0	0.0	0.0	1.1	4.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.8
令和3年度	実績	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	33	47	102
	利用率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.0	5.2	0.9

利用状況について

令和4年度におけるショートステイ利用件数は7件（うち5件が新規利用者）。

要介護1 2件（延べ29日）（リフォームのため、動作が緩慢になったため）

要介護2 1件（延べ9日）（介護者が入院したため）

要介護3 1件（延べ12日）（農繁期で家族が介護できないため）

要介護4 3件（延べ43日）（入院中にコロナ病床の拡充に伴い早期退院したため）

## 6 研修の状況

研 修 名	日 付	施 設 長	事 務 職 員	生 活 相 談 員	看 護 職 員	介 護 職 員	介 護 支 援 専 門 員	機 能 訓 練 指 導 員	栄 養 士	調 理 員 兼 介 護 職 員
高齢者施設等における感染制御と業務継続 ～ クラスタ対策の経験から ～ (Web 研修)	4/27	1		1						
令和3年度会計基準実践的決算講習(講義動画)	4/28	1	1							
令和4年度総会(第1回)・運営研修会	5/30	1								
みるみるわかる労務管理 (Web セミナー)	6/26		1							
第50回(令和4年度)山口県老人福祉 施設相互研修会	6/30			1	1	1				
令和4年度 第1回 総会・社会福祉法人 経営力向上セミナー	7/5	1								
令和4年度 対人援助に効く、心の免疫力を高 めるワークショップ (オンラインセミナー)	7/21		1							
認知症介護実践リーダー研修 7/26、8/9、8/17、8/25、9/5、9/22、10/19	—					1				
第1回介護事業者支援セミナー 『今年度より運営指導(旧・実地指導)がス タート、その事前対策』『10月から新たな 介護職員等ベースアップ等支援加算の概 要』『業務継続計画 (BCP) の作り方と LIFE 活用のポイント』(Web セミナー)	7/28	1		1						
認知症介護基礎研修(E ランニング) 8/9、8/10、8/24、9/21、10/25	—					2				3
ユニットケア施設管理者研修(オンライン)	8/18 8/19	1								
下関市ノーリフティングケアセミナー (オンライン)	8/26					1				
改正育児・介護休業法等オンライン説明会	9/7		1							
令和4年度 介護施設における安全対策担 当者養成研修(E ランニング) (9/8、9/9、9/12、9/23)	—					4				
令和4年度 社会福祉法人における BCP(事 業継続計画)策定研修会(実践編)	10/5			1						



## 7 その他

### (1) 年間の主な会議の実施結果

会議名	内 容	開 催 日	出 席 者
運 営 会 議	施設全体の方向性の確認 行事の確認等	毎月 (梨花の里合同)	施設長、生活課長、生活援助係長 生活相談員
職 員 会 議	事務連絡	4, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 3 月	全職員
施 設 内 研 修	各種研修会	4, 6, 7, 8, 9, 10, 12, 2, 3 月	全職員
運 営 推 進 会 議	活動報告、意見交換	未開催	
リ ー ダ ー 会 議	各部署の課題の協議 施設行事の確認	4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 2, 3 月	施設長、生活課長、生活援助係長 リーダー以上、各部署代表
サービス担当者会議	各職種が集まりサービス 内容を検討し、入所者の ケアプランを決定する	年 2 回/1 入所者	介護支援専門員、ユニット職員 各職種代表
入所検討委員会	入所待機者名簿を作成する	6, 9, 12, 3 月	施設長、介護支援専門員 介護福祉士、生活相談員 看護職員、第三者委員
苦情解決委員会	苦情に関する事例報告	3 月	第三者委員 理事長、施設長、生活課長 法人内の各施設の生活相談員
研 修 委 員 会	職員の気づきを踏まえた勤 務環境やケア内容の改善 (アンケート)	4, 7, 10, 3 月	リーダー以外の職員
ユ ニ ッ ト 会 議	入所者の状況確認 ケア内容の決定 課題抽出	光ユニット 11 回 風ユニット 11 回 虹ユニット 11 回	各ユニット職員
給食調理係会議	業務の改善、行事食等の確認	10 回	生活課長、生活援助係長、調理員
処遇に関する委員会	褥瘡対策チーム	5, 8, 11, 2 月	生活課長、生活援助係長 各ユニット、介護職員 各部署代表
	感染症対策委員会※	6, 9, 12, 3 月	
	身体拘束等防止・監視委員会	5, 8, 11, 2 月	
	口腔内のたんの吸引等安全対策委員会	4, 7, 10, 3 月	
	見守り機器を安全かつ有効に活用するための委員会	6, 10, 2, 3 月	生活課長、生活援助係長 リーダー以上、各部署代表
	事故発生防止委員会	4, 7, 10, 2 月	
	食事内容の検討会議	6, 9, 12, 3 月	
	虐待防止委員会	5, 8, 12, 2 月	
質の評価検討会議	6, 11, 3 月		

#### ※感染症対策委員会事業評価について

感染症対策委員会を中心に、平常時から標準予防対策（マスク・手洗い・消毒・健康観察・面会制限）に努め、各部署での感染対策の実施状況を把握して評価し、改善すべき点を検討した。

感染者の早期発見により感染拡大を防止するため、10月から週2回の抗原検査を実施、また、発生時に迅速かつ適切な対応が行えるよう感染管理認定看護師と連携を図り必要な知識の習得に努めた。その結果、新型コロナウイルス感染症の再発防止に努めることができ、その他の感染症においても発生はみられなかった。

(2) 年間行事実施結果

月	行 事	関連行事等
4	お花見	
5	春の外出（運動公園） お花見会	職員検診（夜勤者のみ）
6	花と緑の日 お楽しみ Day（いぎの葉団子） 映画観賞会	入所検討委員会
7	七夕会 お楽しみ Day（かき氷）	参議院議員通常選挙不在者投票 新型コロナワクチン予防接種（4回目） 害虫駆除
8	盆法要 入所者・職員懇談会（各ユニット） 夕涼み会	消火避難訓練（日中想定）
9	お楽しみ Day（アイスクリームパフェ） 敬老会	入所検討委員会
10	お楽しみ Day（たこやき） 運動会 芋ほり	入所者結核検診
11	焼き芋 入所者・職員懇談会（全体） お楽しみ Day（スイーツバイキング）	消火避難訓練（夜間想定） 職員検診（全職員） インフルエンザ予防接種
12	クリスマスバイキング クリスマス会 もちつき	新型コロナワクチン予防接種（5回目） 入所検討委員会 アクリル板越し面会 害虫駆除
1	元旦行事 初詣 鏡開き	下関市議会議員一般選挙不在者投票
2	節分会	入所検討委員会
3	ひな祭り お楽しみ Day（関東風桜もち） 入所者・職員懇談会（各ユニット） お茶会 彼岸法要	地震災害想定避難訓練 入所検討委員会 苦情解決第三者委員会
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美容の日（第2月曜日）・お念仏の会・喫茶（第2火曜日）・感染症想定訓練（第2火曜日）</li> <li>・外出支援（ドライブ）・選択食（第3金曜日）・誕生日会（第4火曜日）</li> </ul>	

(3) 給食の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食1日単価)	
1日当たりの 平均栄養量 及び給食単価	令和4年度実績	1,336 kcal	経口	836 円
		800 kcal	経管	923 円
	令和3年度実績	1,359 kcal	経口	746 円
		1,000 kcal	経管	1,025 円

(4) 主な帳簿

種 別	記 録 事 項
介護日誌	介護に関わる記録
施設サービス計画書	入所者一人ひとりのケア計画
個人ケース	入所者の日々の記録
看護日誌	看護に関わる記録
機能訓練日誌	機能訓練に関わる記録
出勤簿	出勤時、押印するもの
出張命令簿	出張の際管理者に届け出るもの
新型コロナに係る体温・体調記録簿	午前の検温、勤務時の体調把握